

関東甲信越英語教育学会 令和6年度 春季研修会

1. テーマ 「英語教育エンリッチメントの取り組み」
2. 日 時 2025年3月9日(日)
3. 開催形態(ハイブリッド) 明治大学中野キャンパス3階(対面の場合) +オンライン(zoom)
4. 参加費 無料(会員・非会員問わず)
5. スケジュール

12:30～受付(事前申し込み制)

13:00～13:10 開会式

13:10～14:20 1. 講演、及び実践報告(小学校・大学)(70分)

講師：土屋 佳雅里 先生(東京成徳大学)

タイトル：AI時代の英語教育エンリッチメント 一物語を通した実践からー

概要：物語を通した英語教育エンリッチメントとして、AI時代にふさわしい「アナログ×デジタル」効果をねらう指導を紹介します。幼保小では物語絵本を用いたリアルな読み聞かせのアナログ効果、また大学では『シンデレラ』物語の読解に機械翻訳や映画を扱うデジタル効果を中心に、AI時代の英語の学びと学習者に身につけたい力を考えていきます。

14:30～15:20 2. 実践報告(中学校・高校)(50分)

発表者：小林 良裕 先生(豊島岡女子学園 中学校・高等学校)

タイトル：中高授業のエンリッチメント(英語ディベート授業内の添削を中心に)

概要：高校の授業における生成AIの活用事例として、英作文の添削指導を中心に報告します。まず、1クラス分の英作文を短時間で添削できる手法を紹介し、主に英語ディベート授業での実践例を共有します。また、添削指導を受けた生徒へのアンケート調査結果を踏まえ、AI時代における英語教師の新たな役割について考察します。さらに、英作文指導の土台となる、生徒同士の活発なやりとりを促す、英語ディベート的な活動例もご紹介します。

15:20～16:10 大学院生研究報告(計50分)

発表者①：柴 希絃(千葉大学大学院)

タイトル：オンラインツールを活用した形成的評価による指導と学習のエンリッチメント

概要：本発表では、多くの授業で活用する振り返りシートを教師の指導と生徒の学習のエンリッチメントの手立てとして導入する方法を紹介する。まず、教員へのアンケート調査の結果から、振り返りシート活用の課題を明らかにする。その後、先行研究を参照しながら、オ

ンラインツールを活用する、教師が短時間でチェック可能で、生徒の学習改善を促すような振り返りシートの作成と活用を検討し、指導と学習のエンリッチメントへとつなげた成果を報告する。

発表者② : **八木 晃輝** (東京学芸大学教職大学院)

タイトル : **ChatGPT 4o によるライティング指導を高校生 160 名はどう理解して活かすか**

概要: 本研究は、ChatGPT 4o が高校生の英作文指導にどのように活用されるかを検討した。

160 名の高校 2 年生を対象に、英作文を ChatGPT 4o に修正させ、その説明を元に再作文を行わせた。生徒は説明のわかりやすさを評価し、調査者はその評価と作文内容を文法項目に焦点をあてて分析した。AI に指導を任せられる文法項目と教員による指導が求められる項目への示唆を目指した。

16:20～17:00 パネルディスカッション（40 分）

テーマ : **これからの英語教育エンリッチメントの取り組みについて（仮）**

- ・座談会形式で、会場にいる皆様の活発なご意見・ご質問をどうぞ
- ・これまでの発表に対する質疑応答も含む

登壇者 : **土屋 佳雅里** (東京成徳大学)

小林 良裕 (豊島岡女子学園 中学校・高等学校)

柴 希絃 (千葉大学大学院)

八木 晃輝 (東京学芸大学教職大学院)

山本 昭夫 (学習院高等科、KATE 研修企画委員長)

物井 真一 (筑波大学附属高等学校、KATE 研修企画副委員長) (司会)

17:00～17:10 閉会式

17:10～17:40 情報交換会（希望者）

6. 参加申込

右の QR コード、または学会 HP より、必要事項をご入力の上お申し込みください。

学会ホームページ <http://kate-jp.sakura.ne.jp>

(申込〆切 2025 年 3 月 2 日（土）17 時まで)



7. お問い合わせ 以下のメールアドレスへお願ひいたします。

kate.kenshukikaku@gmail.com 研修企画委員